

所属・氏名（ 健康科学部 医療経営学科 氏名：井山 慶信 ）

著書、学術論文等の名称	単著 共著 の別	発行又は発表 の年月	発行所、発表雑誌 等又は発表学会等 の名称	概 要
1 (学術論文) 学校における安全教育のアウトリーチに関する研究 《筆頭論文》	単著	2018年12月	広島国際大学教職 教室教育論叢, 第10号, pp.264-268	論文全体の概要： アウトリーチの一例として、学校が赤十字に講師 依頼する救急法短期講習について、時期や対 象者、依頼内容について傾向を分析した。学校 行事と関連し、特定の時期に特定の対象者へ集 中の講習を開催せざるを得ないことが分かっ た。時期を分散させることが難しいため、医療・福 祉・健康についての教育を行っている本学とし て、救急法の出前授業を各学校で実施すること が、大学が貢献できる効果的なアウトリーチだと 考えられる。さらには防災教育も加えて、地域と 協同で大規模な実践訓練を行うことが、今後大 学に求められていることである。 ページ数:5頁 著者:井山慶信
2 (学術論文) 小学生が主体となって実践する 地域密着型防災教育に関する研究 《筆頭論文》	共著	2020年12月	広島国際大学教職 教室教育論叢, 第12号, pp.16-22	論文全体の概要： 異常な災害が毎年のように発生している現状に おいて、いかにして住民一人一人に「命を守る行 動」を実行してもらうかは重要な課題である。本 研究では、避難所として開設されることの多い小 学校において、その場所を最もよく知っている児 童と教職員とが主体となった実践的な体験学習 を実施した。児童たちは実際に体育館で段ボー ルベッドの組み立てや防災グッズの体験等を行 い、防災について知識と技術を身に付けること により、「自ら助ける」立場に成長することが出来 た。自分と家族、それぞれの避難についても考 え、避難の“楽しさ”を知ってもらうことも出来た。 児童たちの率先避難が、周りの大人たちの早め の避難行動に結び付いていくことが期待される。 ページ数:7頁 著者:井山慶信、岡田大爾 担当部分の概要： 共同研究につき本人担当部分抽出不可能
3 (学術論文) 指導者向け野外防災教育研 修プログラムの開発 —土石流を中心として—	共著	2020年12月	広島国際大学教職 教室教育論叢, 第12号, pp.39-46	論文全体の概要： 土石流の危険性の察知と安全確保を担う指導者 向けの研修プログラムを次のように3点開発し た。①地形・地質を調べてその場所の安全性と 危険性を考える。②溪流において土石流災害の 規模や過去の土石流災害の回数、原因、今後 の可能性について考える。③溪流だけでなく、山 腹を含めて山全体の土石流災害の危険性につ いて考える。これらの研修プログラムの妥当性 について議論を行った結果、学習者集団が土石 流災害のメカニズムや防災の方法を科学的に考 えて発見し、災害リスクを科学的に判断して安全 に対処しようとする教育効果が判明した。 ページ数:8頁 著者:岡田大爾、井山慶信、越智秀二 担当部分の概要： 共同研究につき本人担当部分抽出不可能